

この会社にきた理由がわかった

1000日間

社会福祉法人 室蘭言泉学園

企業で活躍する若手社員の紹介

社員採用側と就職活動側、お互いのゴールは「入社」ではなく、「定着」から活躍であることは周知であると思う。
せっかく人材のマッチングが行われ入社に至っても、定着までにかかる日数が業界それぞれに存在する。
『定着までの心理と時間の谷』
その多くは1000日に現れることが多いと言われている。
『谷を越えて来た』9人のインタビューから、それぞれの背中を押ししたポイントを探ってみたい。



定着成功、3つのポイント

- ・入社前の体験・見学の充実
- ・先輩たちの適切な関与
- ・入社から教育までの体制の良さ

『子どもが好き』が私の原点

子供の頃から保育士になりたかった。

保育士になるのは子供の頃からの夢でした。地元室蘭の高校へ通い保育士になるため進学を考えました、高校の系列短大が函館にあり、一度地元を離れることになるのですが迷わず進学しました。

入社の決め手になったのは、

施設実習で言泉学園へ来れたことです。

短大在学中、資格取得へのカリキュラムにある施設実習は地元にある言泉学園へ行きました。

言泉学園は、多くの人が知る幼稚園・保育園とは違い、障がいがあり親の育児が難しい子どもの施設です

私も障がいを持った従妹がそばにいたので、無駄な抵抗なく入っていかれたと思っています。

そこで出会えた子どもたち、先輩職員の間関係や職場の雰囲気にごく魅かれた実習となりました。

短大卒業後、就職活動の第一優先はもちろんここ言泉学園となり入職となりました。

1年目いきなりの壁に当たり、

ネガティブな気持ちの時期がありました。



中学3年生で高校へ

進学する子を受け持つこととなったのですが、思春期の女の子に対して比較的年も近いため、高校への進学経験もある私の考えや思うことが衝突してしまい出口が見えないことがありました。言泉学園の職員全員に言えることなのですが、日ごろからのコミュニケーションや職員どうしの連携が強いのです。この時もすぐたくさん相談しました。何度も同じことを聞いても受け入れてくれ、経験を話してくれ、自分の行動を支持してアドバイスをしてくれて、私もそれに応えるべく考え抜き行動し、向き合い乗り越えることができました。

ずっとここで、働きたいです。

子どもが大好きな私は、子どもたちと一緒に成長している喜びを感じて仕事をしています。

しかし一人の子供を支えるのに職員一人だけではとても無理だし、事務的な仕事も数多くあって大変ですが、この職場ではコミュニケーションを柱としたスタッフ連携があり心強く仕事ができますし、私のことも大切に育ててもらっていることを実感しています。

保育士を目指している方がいたら、応募前に体験見学に来てみたらきっと感じてもらえると思います。

